

第1561号 2020年1月1日

☆帝国主義国、植民地従属国、「労働者国家」の階級闘争を世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟（統一委員会）

革命の真

今号の内容	1~4面：第一新年号論文（情勢）
	5面：2020年新年あいさつ 三里塚芝山連合空港反対同盟
今号 8 頁 300 円	6面：岩国行動2019報告
	7面：2020年年頭の連帯あいさつ
年間購読料（送料込） 開封 6,300 円 密封 7,000 円	8面：共闘団体からの2020年新年アピール

深まる分断、対立、貧困、戦乱 現代帝国主義を打ち倒そう

激化する排外主義と対決し

国際共産主義運動の前進を

トランプ政権が呼びかけた「有志連合」によって、ホルムズ海峡で新たな戦端が開かれようとしている。二〇二〇年頃、混迷する現代帝国主義の破綻した世界戦略が、新たな戦乱を誘発し、放置し、激化させる事態に至っている。労働者人民がこの無責任な戦争に動員され、殺し、殺されるのか。強いられた貧困の中で、差別と憎しみ、対立を担うために動員されるのか。資本主義世界そのものを根底から覆すのか。現代帝国主義そのものが世界規模の危機と対立の時代に入りしている。労働者階級人民は何を選択するのか、どう闘うのか。

二〇一九年、われわれは「天皇即位」反対闘争、G20大阪会議反対闘争を二大課題としつ、戦争と改憲に突き進む安倍政権を打倒すべく闘い抜いてきた。現代資本主義の混迷と暴走、そして安倍政権のさらなる反動をはつきりと捉え抜き、二〇二〇年日本階級闘争の課題を明確化していく。

『戦旗』では、今号と次号の二回にわたりて、共産同（統一委員会）の年頭論文を掲載する。今号第一五六一號では情勢についての見解を明らかにする。次号第一五六二號で、一九年の総括と二〇年の方針を明らかにしていく。

トランプ政権はイラン制裁を強め、イスラエルの暴虐を支援し、中東の軍事的対立を先鋭化させてきた。トランプとの友好関係を維持しつつも、自衛隊中東派兵を対立を先鋭化させてきた。トランプは「低出力オプション」をもなそうとしている。トランプ政権が戦乱を作り出し、これに乗じて安倍政権が自衛隊派兵を強行する。こんなことを絶対に許してはならない。自衛隊派兵阻止参戦阻止を闘おう。

トランプ政権はイラン制裁を強め、イスラエルの暴虐を支援し、中東の軍事的対立を先鋭化させてきた。トランプ政権は「低出力オプション」をもなそうとしている。トランプ政権が戦乱を作り出し、これに乗じて安倍政権が自衛隊派兵を強行する。こんなことを絶対に許してはならない。自衛隊派兵阻止参戦阻止を闘おう。

世界情勢

アサド政権を攻撃させるというトランプの邪悪な企図に貫かれたものである。トルコにクルド人の解放闘争を庄稼させるものだ。

このトルコ・シリアの軍事的緊張激化の一方で、米帝ートランプ政権は二年前にイラク核協議を一方的に離脱してから、対イラン制裁をエスカレートさせてきた。

トランプ政権は、対イラク制裁の先に侵略戦争を準備しており、同盟国に対し直し（NPR）に基づいて核軍事戦略を危険な形で再編しつつある。

「戦略核の三本柱は、潜水艦発射弾道ミサイル（SLBM）を搭載した戦略原潜（SSBN）、陸上配備大蔵庫（ICBM）、無誘導爆弾および空中発射巡航ミサイル（ALCM）である。

トランプは一九年二月に月に鉄鋼とアルミニウムに高率の関税をかけて以降、保護主義関税を次々に発動

トランプ政権が引き起こしてきた分断と対立は、経済領域においては米中貿易戦争として勃発し深化してきた。

トランプ政権は八年三月に「有志連合」形成・参加をしており、同盟国に対し直し（NPR）に基づいて核軍事戦略を危険な形で再編しつつある。トランプは、ロシアとの間で結ばれている中距離核戦力（INF）条約の運用停止を発表し、ポンペオ国務長官がロシアに対する脱退通告をいたと主張している。これに対してもロシア側は、米国がルーマニアに配備した迎撃システム「イージス・アショア」こそINF条約違反だと主張している。イージス・アショアはトマホーク巡航ミサイルの発射が可能だからだ。

これ自体は米・口間の対立する主張だが、トランプ政権の本当の意図は、中国への対抗である。米口間で中距離核戦力を制限している間に、この条約の外にいる中国が中距離ミサイルの保有を増やしてきたことがある。トランプ政権は、中国が無制限に中距離ミサイルを配備することに強い不満を持っているのだ。中国も自衛隊派兵阻止参戦阻止を闘おう。

トランプ政権は八年三月に「有志連合」形成・参加をしており、同盟国への核配備の意図を明示している。

トランプ政権は八年三月に鉄鋼とアルミニウムに高率の関税をかけて以降、保護主義関税を次々に発動

トランプが拡大する
分断と対立、戦乱

のシリア越境攻撃が始まつた。クルド人武装組織「人民防衛隊（YPG）」、クルディスタン労働者党（PKK）のトルコ・シリア国境地帯での活動を圧殺しようとする攻撃だ。エルドアンは、まさに米帝トランプの容認の下でクルド人殺戮に着手した。

米帝は、IS掃討作戦のためにYPGを利用しながらの一方でトランプは、トルコ・シリア国境地帯でトルコ・シリア国境地帯での活動を圧殺しようとする攻撃だ。エルドアンは、まさに米帝トランプの容認の下でクルド人殺戮に着手した。

米帝トランプは昨年一〇月六日、シリア北部の米軍を突然撤退させた。この一方でトランプは、トルコ軍にYPGとシリア軍と軋轢を一にして、トルコ軍と電話会談した。そして、米軍の撤退開始

大統領エルドアンと電話会談した。しかし、今回の米軍シリア北部撤退の顛末は、トルコ軍にYPGとシリア

がたい発表を行なった。

トランプは大統領

大使館をエルサレムに移転するなど、イスラエル支持の立場を鮮明にして、パレスチナ解放闘争に敵対してしまった。昨年一月にはトランプ政権はイスラエルの入植地を容認するという許し

三里塚・請求異議裁判

1・16 東京高裁に結集を

一面から
してきました。とくに中国に対しは、数次にわたって高率関税をかけ続け、中国もこれに対抗して米国製品に関税をかけてきた。米中間の貿易戦争として展開している。

国内総生産(GDP)で日本を抜き世界二位となっている中国は、極東から南アジア、中東、アフリカ、欧洲「一带一路」構想を掲げると同時に、中国全体の製造業の水準を一挙に高めて「製造強国」になることを目標にした「中国製造二〇二五」を掲げている。

米帝ブルジョアジーが恐れているのは、中国の経済規模ということではなく、中国が現代資本主義の機械、航空宇宙、電子・電機産業、素材産業の技術において米国産業を凌駕するようになることなのだ。

新自由主義グローバリゼーションの展開によって、国境を越える資本の生産体

系は、複数の国々にまたがってさまざまな技術に対応

して部品生産を行い、最も賃金の安い国で組み立て生産を行う、ということが日

常的になされている。当然のことながら、後発諸国の産業技術のキャッチアップ

によって、技術移転が行なわれていく。

そのような展開が予想されていても、帝国主義資本はあくまでも利潤の拡大、利潤率の拡大を求めて、その資本輸出を拡大せざるを得ない。そもそも新自由主義

グローバリゼーションを掲げ、国際的な資本移動の障壁を打ち破ってきたのは、ワシントン・コンセンサスに基づく米帝の世界戦略だつた。

トランプはこの貿易戦争

の当初、鉄鋼業は米国の中母や戦闘機を造るために重

要だとしていた。しかし、米帝アルジョアジーにとって重要なことは、産業技術総

本における、中国との競争

なのである。事態はさらに深刻化している。

○八年金融恐慌以降、世界経済は本格的な景気回復に至つてはいない。さうして、米中貿易戦争を大きな要因にいたる経済開発戦略「一帯一路」構想を掲げると同時に、中国全体の製造業の規模を一挙に高めて「製造強国」になることを目標にした「中国製造二〇二五」を掲げている。

米帝ブルジョアジーが恐

れているのは、中国の経済規模ということではなく、

中国が現代資本主義の機械、航

空宇宙、電子・電機産業、素

材産業の技術において米国産業を凌駕するようになることなのだ。

新自由主義グローバリゼ

ーションの展開によって、国境を越える資本の生産体

系は、複数の国々にまたが

ってさまざまな技術に対応

して部品生産を行い、最も

賃金の安い国で組み立て生

産を行う、ということが日

常的になされている。当然

のことながら、後発諸国の

産業技術のキャッチアップ

によって、技術移転が行な

われていく。

そのような展開が予想され

れていても、帝国主義資本

はあくまでも利潤の拡大、利

潤率の拡大を求めて、その

資本輸出を拡大せざるをえ

ない。そもそも新自由主義

グローバリゼーションを掲

げ、国際的な資本移動の障

壁を打ち破ってきたのは、

ワシントン・コンセンサス

に基づく米帝の世界戦略だつた。

トランプはこの貿易戦争

の当初、鉄鋼業は米国の中母や戦闘機を造るために重

要だとしていた。しかし、米帝アルジョアジーにとって重要なことは、産業技術総

本における、中国との競争

なのである。事態はさらに深刻化している。

○八年金融恐慌以降、世界経済は本格的な景気回復に至つてはいない。さうして、米中貿易戦争を大きな要因にいたる経済開発戦略「一帯一路」構想を掲げると同時に、中国全体の製造業の規模を一挙に高めて「製造強国」になることを目標にした「中国製造二〇二五」を掲げている。

米帝ブルジョアジーが恐

れているのは、中国の経済規模ということではなく、

中国が現代資本主義の機械、航

空宇宙、電子・電機産業、素

材産業の技術において米国産業を凌駕するようになることなのだ。

新自由主義グローバリゼ

ーションの展開によって、国境を越える資本の生産体

系は、複数の国々にまたが

ってさまざまな技術に対応

して部品生産を行い、最も

賃金の安い国で組み立て生

産を行う、ということが日

常的になされている。当然

のことながら、後発諸国の

産業技術のキャッチアップ

によって、技術移転が行な

われていく。

そのような展開が予想され

れていても、帝国主義資本

はあくまでも利潤の拡大、利

潤率の拡大を求めて、その

資本輸出を拡大せざるをえ

ない。そもそも新自由主義

グローバリゼーションを掲

げ、国際的な資本移動の障

壁を打ち破ってきたのは、

ワシントン・コンセンサス

に基づく米帝の世界戦略だつた。

トランプはこの貿易戦争

の当初、鉄鋼業は米国の中母や戦闘機を造るために重

要だとしていた。しかし、米帝アルジョアジーにとって重要なことは、産業技術総

本における、中国との競争

なのである。事態はさらに深刻化している。

○八年金融恐慌以降、世界経済は本格的な景気回復に至つてはいない。さうして、米中貿易戦争を大きな要因にいたる経済開発戦略「一帯一路」構想を掲げると同時に、中国全体の製造業の規模を一挙に高めて「製造強国」になることを目標にした「中国製造二〇二五」を掲げている。

米帝ブルジョアジーが恐

れているのは、中国の経済規模ということではなく、

中国が現代資本主義の機械、航

空宇宙、電子・電機産業、素

材産業の技術において米国産業を凌駕するようになることなのだ。

新自由主義グローバリゼ

ーションの展開によって、国境を越える資本の生産体

系は、複数の国々にまたが

ってさまざまな技術に対応

して部品生産を行い、最も

賃金の安い国で組み立て生

産を行う、ということが日

常的になされている。当然

のことながら、後発諸国の

産業技術のキャッチアップ

によって、技術移転が行な

われていく。

そのような展開が予想され

れていても、帝国主義資本

はあくまでも利潤の拡大、利

潤率の拡大を求めて、その

資本輸出を拡大せざるをえ

ない。そもそも新自由主義

グローバリゼーションを掲

げ、国際的な資本移動の障

壁を打ち破ってきたのは、

ワシントン・コンセンサス

に基づく米帝の世界戦略だつた。

トランプはこの貿易戦争

の当初、鉄鋼業は米国の中母や戦闘機を造るために重

要だとしていた。しかし、米帝アルジョアジーにとって重要なことは、産業技術総

本における、中国との競争

なのである。事態はさらに深刻化している。

○八年金融恐慌以降、世界経済は本格的な景気回復に至つてはいない。さうして、米中貿易戦争を大きな要因にいたる経済開発戦略「一帯一路」構想を掲げると同時に、中国全体の製造業の規模を一挙に高めて「製造強国」になることを目標にした「中国製造二〇二五」を掲げている。

米帝ブルジョアジーが恐

れているのは、中国の経済規模ということではなく、

中国が現代資本主義の機械、航

空宇宙、電子・電機産業、素

材産業の技術において米国産業を凌駕するようになることなのだ。

新自由主義グローバリゼ

ーションの展開によって、国境を越える資本の生産体

系は、複数の国々にまたが

ってさまざまな技術に対応

して部品生産を行い、最も

賃金の安い国で組み立て生

産を行う、ということが日

常的になされている。当然

のことながら、後発諸国の

産業技術のキャッチアップ

によって、技術移転が行な

われていく。

そのような展開が予想され

れていても、帝国主義資本

はあくまでも利潤の拡大、利

潤率の拡大を求めて、その

資本輸出を拡大せざるをえ

ない。そもそも新自由主義

グローバリゼーションを掲

げ、国際的な資本移動の障

壁を打ち破ってきたのは、

ワシントン・コンセンサス

に基づく米帝の世界戦略だつた。

トランプはこの貿易戦争

の当初、鉄鋼業は米国の中母や戦闘機を造るために重

要だとしていた。しかし、米帝アルジョアジーにとって重要なことは、産業技術総

本における、中国との競争

なのである。事態はさらに深刻化している。

○八年金融恐慌以降、世界経済は本格的な景気回復に至つてはいない。さうして、米中貿易戦争を大きな要因にいたる経済開発戦略「一帯一路」構想を掲げると同時に、中国全体の製造業の規模を一挙に高めて「製造強国」になることを目標にした「中国製造二〇二五」を掲げている。

米帝ブルジョアジーが恐

れているのは、中国の経済規模ということではなく、

共闘団体からの 「二〇一〇年新年アピール」

ブルジョア的世界秩序を転覆する
新たな政治勢力の形成を

ノリティ・社会主義的思想を持った候補者を擁立することによって躍進し、さらには朝鮮半島で進行する歴史的な事態を呼び込んだ韓国民衆のろうそく革命といふ名もなき民衆の抬頭があります。

他方、安倍政権は憲政史上最長を記録しましたが、しかしこれは断末魔を迎えた資本主義を少しでも延命させたい支配階級の最後のあがき、もはやどんな手段を講じても経済成長などあり得ないにも関わらず、これを認められない支配階級に幻想を与えるために続いているにすぎないのでです。

安倍政権は辺野古新基地建設を基盤にしながら東アジアの軍事的・政治的覇権を狙っているのですが、これが挫折を余儀なくされかねないのは、現在朝鮮半島

二〇一〇年、日本帝国主義・安倍政権は新たな帝国主義国家＝戦争国家確立に向けて更なる攻撃に撃つて出るだろう。

第一に自衛隊明記の改憲である。安倍政権は、「一〇年一月通常国会」憲法審査会での「国民投票法改正案」審議で野党を抱き込み、一気に改憲案を国会に提出し改憲発議を狙ってくるだろう。改憲を前提とした憲法審査会そのものの開催を許してはならない。改憲の狙いは戦争国家に不可欠な自衛隊の国軍化・帝國主義軍隊化である。自衛隊容認のブルジョア議会主義政党に依存することなどできぬ。労働者を中心とした憲

統一共産同盟 法審査会開催・国会発議阻止の大衆的直接行動に起つたあがろう。

第二に自衛隊のイラン派兵である。安倍政権は国会での議論抜きに、閣議決定で護衛艦と哨戒機派遣を强行しようとしている。改憲粉碎と一体に、反帝国主義者同盟(統一委員会)の皆さん。明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひします。

して彈劾し起ちあがつてゐる。日本近代国家はアイヌ民族、琉球民族に対する化抹殺・植民地主義によつて成立してきた。天皇制家を支えているものこそ民族排外主義である。日勞働者・人民は、アイヌシリ侵略、琉球・沖縄併へ皇民化の歴史を捉え返し、自己解放をかけて闘わなければならぬ。本年も其上強きく変えよう闘おう。

国民が、韓国敵視政治先支持したことです。

「関生魂」の思

関生ゴミユースト同
(関ゴミ)から、新年の
拶を申し上げます。今年
「明けましておめでと
とはいえない年明けと
ました。それは、関西地
コン支部への戦後最大
力弾圧で延べ七九名の
が逮捕されたからです
年五力月になるも今だ
の仲間が勾留中です
2/1現在)。そして、
の保釈を勝ち取り、身
束から解き放されたと
きや、組合事務所への
りと組合員との交信禁

時代である。〇年代バブルが切ったが、他に中小企業が結集させ、取引条約による連携が強化され、生産の効率化が進む一方で、競争を抑える規制緩和が進むなど、経済の構造が大きく変化する。この結果、大企業は規模を拡大し、中小企業は協同化するなどして生き残るが、多くの中小企業は倒産する。また、労働問題や環境問題などの社会的問題も深刻化する。

日 程

六 反対集会&防衛省デモ
分集会開始
センター
(市ヶ谷駅寄り)
時デモ出発
化にNO! アクション
旗開き
組合道路
反対同盟
延

義・プロレタリア国際主義を貫く反戦・反基地闘争を闘おう。辺野古新基地反対・琉球弧の軍事要塞化阻止の闘いと連帯するヤマト各地の闘いを日米安保粉碎へ押し上げよう。

第三に、天皇の元首化である。我々は昨年、天皇代替わり粉碎闘争を強調して、天皇制下への人民統合を許すな。七月東京五輪開会式での国家元首としてのナルヒト宣言を粉碎せよ。民主主義を根底から破壊し階級融和を図る天皇制を廢絶しよう。

第四にアイヌ民族、琉球民族への同化抹殺攻撃である。安倍政権は二〇〇四年四月二四日、「白老」民族共生象徴空間開設でアイヌ民族同化完了を宣言しようとしている。アイヌ民族の遺骨返還・自決権獲得の闘いを支持し連帯しよう。琉球民族もヤマト・天皇制国家による遺骨略奪を植民地主義として弾劾し起ちあがつている。日本近代国家はアイヌ民族、琉球民族に対する同化抹殺・植民地主義によって成立してきた。天皇制國家を支えているものこそ他民族排外主義である。日本労働者・人民は、アイヌモシリ侵略、琉球・沖縄併合、皇民化の歴史を捉え返し、自己解放をかけて闘わなければならぬ。本年も共に闘おう。

（関コミ）から、新年のご挨拶を申し上げます。今年も「明けましておめでとう」とはいえない年明けとなりました。それは、関西地区コン支部への戦後最大の権力弾圧で延べ七九名の仲間が逮捕されたからです。二年五ヶ月になるも今だ二名の仲間が勾留中です（12/1現在）。そして、仲間の保釈を勝ち取り、身柄拘束から解き放されたと思いついて分散した抵抗にとどまつこひだ。この見返りで、さて今われわれは、後がない所で闘っています。しかも共同の革命的政治を欠いて分散した抵抗にとどまつこひだ。この見返りで、

拡張政治は支配階級の動的部、野党共闘をも券込みだしているのです。の政対抗するには、民衆の政治的登場が、第極政治勢力の形成が必要です。

新しい年、安倍政権は国敵視政治を推進軸に、鮮半島・東アジアの緊張再先鋭化、辺野古新基地設・土砂投入の加速、「戻り予算」大増額と大軍事社会保障制度改悪、旭日オリンピック、そして改の達成を狙っています。かし今日ではそれらもた、国家と資本主義が社の存立と両立しない時代入ったことの「証」でしかく、帝国主義的発展時代再来をもたらすことはありません。選択肢は、社会(間)の崩壊か、それとも国を超えた助け合い社会・球的自然との共生社会かです。

団結・協力し、時代のれを大きく変えていきましょう。

云々

は潰されない

ミユースト同志会

す。保険とは名ばかりで、宅での軟禁状態です。

何故なのか。それは、二七年一二月の運賃引き上げを求めてゼネストにあります。また、中小企業と労組合が連携・協力する闘型運動(協同組合化)を漕ごとにあります。

中小企業同士の競争を制すると同時に、大企業らの収奪を抑制し、取引件を改善するために中企業を協同組合に結集さる。このことを通じて、生ノ面各の適正な品質

封じ込めていた日本の組合活動の再生に繋がること、ある企業携・労働の思想は潰されない。全国の仲間たちが、この権力弾圧を止め、闘い続けることを意して新年のご挨拶をさせていただきます。